

島根学習センター概要



令和7年4月

 **放送大学** 島根学習センター

目 次

放送大学及び島根学習センターの沿革	・ ・ ・ ・	1
放送大学設立の趣旨・目的	・ ・ ・ ・	2
島根学習センターの主な事業・活動		
・面接授業	・ ・ ・ ・	3
・公開講演会	・ ・ ・ ・	5
・学生のためのパソコン活用講座	・ ・ ・ ・	5
・客員教員によるゼミ	・ ・ ・ ・	6
・学習相談	・ ・ ・ ・	6
・学生研修旅行	・ ・ ・ ・	6
・サークル活動	・ ・ ・ ・	6
島根学習センター令和7年度第1学期の学生現況		
・学生数の推移	・ ・ ・ ・	7
・履修科目の状況	・ ・ ・ ・	8
・教養学部 of 状況	・ ・ ・ ・	9～10
・大学院の状況	・ ・ ・ ・	10
・卒業生、修了生の推移	・ ・ ・ ・	11
・市町村別在籍者数	・ ・ ・ ・	12～13

放送大学及び島根学習センターの沿革

昭和	56 (1981) 年	6 月	放送大学学園法公布・施行
		7 月	放送大学学園設立
	58 (1983) 年	4 月	放送大学設置
	59 (1984) 年	10 月	放送局免許(東京局) 放送局免許(前橋局)
	60 (1985) 年	4 月	放送による授業開始
			学習センター(群馬、埼玉、千葉、東京第一、東京第二、神奈川)学生受入開始
平成	元 (1989) 年	4 月	第1回卒業式
	8 (1996) 年	4 月	島根地域学習センター準備室設置(施設面積367㎡)
		6 月	島根地域学習センター事務所開き
		7 月	第81回放送大学公開講演会
		9 月	島根地域学習センター開所式
		10 月	島根地域学習センター学生受入開始
	9 (1997) 年	10 月	委託放送業務認定(CSデジタル放送)
	10 (1998) 年	1 月	CSデジタル放送による全国放送開始
		4 月	「島根地域学習センター」から「島根学習センター」に改組
		10 月	全国の学習センターで全科履修生の受入開始
	11 (1999) 年	6 月	面接授業(集中型)を開設
		9 月	島根学習センター所属の全科履修生から初の卒業生
		10 月	面接授業(土日型)を開設
		12 月	島根大学と単位互換協定締結
	12 (2000) 年	5 月	センター外再視聴施設(いわみーる3階放送大学浜田コーナー)設置
	13 (2001) 年	3 月	島根医科大学と単位互換協定締結
		4 月	放送大学大学院設置
			施設拡充(3階108㎡ 合計475㎡)
		11 月	第122回放送大学公開講演会
	14 (2002) 年	4 月	大学院【文化科学研究科】学生受入開始
	15 (2003) 年	3 月	第1回島根学習センター文化祭「私が楽しんでいること」展
	16 (2004) 年	3 月	島根学習センター所属の修士全科生から初の修了生
	17 (2005) 年	10 月	センター外再視聴施設(益田市中央公民館2階放送大学益田コーナー)設置
	18 (2006) 年	9 月	センター外再視聴施設放送大学益田コーナーが益田市民学習センター内に移転
		10 月	島根学習センター開設10周年記念講演会
	19 (2007) 年	6 月	島根県立大学と単位互換協定締結
	21 (2009) 年	2 月	島根大学との双方向単位互換協定書覚書締結
	23 (2011) 年	10 月	BSデジタル放送開始
			島根学習センター開設15周年記念事業
	24 (2012) 年	3 月	CSデジタル放送終了
		10 月	古事記編纂1300年を記念して学術講演会開催
	25 (2013) 年	4 月	放送大学島根同窓会が設立
		4 月	教養学部情報コース及び大学院情報学プログラムの設置
		10 月	放送大学30周年記念講演会
	26 (2014) 年	1 月	出雲コンピュータ専門学校と連携協力に関する覚書締結
		4 月	放送大学大学院博士後期課程設置
	27 (2015) 年	4 月	オンライン授業配信開始
	28 (2016) 年	4 月	カリキュラム改正
		11 月	島根学習センター開設20周年記念事業
	30 (2018) 年	4 月	島根学習センター図書視聴室にWi-Fi環境整備
令和	元 (2019) 年	5 月	センター外再視聴施設放送大学益田コーナーが益田市立図書館内に移転
	2 (2020) 年	3 月	島根県立大学大学院と単位互換協定締結
	3 (2021) 年	11 月	島根学習センター開設25周年記念事業
	4 (2022) 年	1 月	島根県立大学と双方向単位互換協定書覚書締結
	5 (2023) 年	10 月	放送大学40周年記念式典・シンポジウム

放送大学設立の趣旨・目的

放送大学は、テレビ・ラジオ放送による大学教育の普及発達を図ることを趣旨として設立された大学で、その具体的な目的は、次のとおりです。

- 1 生涯学習機関として、広く社会人等に大学教育の機会を提供する
- 2 高等学校卒業者等に対し、柔軟かつ流動的な大学進学の手続きを提供する
- 3 既存の大学との連携協力等による我が国の大学教育の改善へ貢献する

学生の種類

【教養学部】

学 生 種		在学期間
全 科 履 修 生	卒業(学位取得)を目指す学生等	4年～最長10年
選 科 履 修 生	希望する科目を履修する学生	1年
科 目 履 修 生		半年
集 中 科 目 履 修 生	「司書教諭資格取得に資する科目」を履修する学生	3か月 (7月～9月)
	「看護師資格取得に資する科目」を履修する学生	

※看護師資格取得に資する科目は、2020年度から一般科目に移行

【大学院文化科学研究科】

・修士課程

学 生 種		在学期間
修 士 全 科 生	修士(学術)の学位取得を目指す学生	2年～最長5年
修 士 選 科 生	学習・研究したい科目を履修する学生	1年
修 士 科 目 生		半年

・博士後期課程

学 生 種		在学期間
博 士 全 科 生	博士(学術)の学位取得を目指す学生	3年～最長8年

学習センター

現在、全国都道府県に57カ所の学習センターやサテライトスペースが設置され、放送大学の学生サービスの拠点となっています。これらの施設には、放送授業番組を視聴できる再視聴室、講義室、学生談話室などがあります。

学習センターの役割

1. 放送授業の再視聴
2. 単位認定試験の実施
3. 面接授業の開講
4. 放送授業(DVD・CD)、図書の閲覧
5. 学習相談の実施
6. サークル活動や交流

島根学習センター 主な事業・活動

◆面接授業 令和6年度第1学期(実績)

科目区分		科目名	担当講師	日 程
基盤	外国語	日常のなかのフランス語	的場 寿光	6月29日(土)、30日(日)
導入	心理と教育	今、日本で求められる英語教育	大谷 みどり	5月25日(土)、26日(日)
専門	生活と福祉	子どもの保健	前林 英貴	6月1日(土)、2日(日)
		インクルーシブ社会の障がい学	水内 豊和	6月8日(土)、9日(日)
	心理と教育	心理学実験2	村瀬 俊樹	5月18日(土)、19日(日)
	社会と産業	経済の地方特性について	松原 隆一郎	5月11日(土)、12日(日)
		建築遺産の空間学	千代 章一郎	5月25日(土)、26日(日)
		基本的人権保障の現代的課題	黒澤 修一郎	6月22日(土)、23日(日)
	人間と文化	オリンピックの文化史	浜田 幸絵	4月20日(土)、21日(日)
		ウクライナとポーランドの歴史	小山 哲	6月15日(土)、16日(日)
		アンデスの文化遺産と博物館	鶴見 英成	7月6日(土)、7日(日)
	自然と環境	山陰地域の内陸地震と活断層	向吉 秀樹	5月18日(土)、19日(日)

◆面接授業 令和6年度第2学期(実績)

開催場所は島根学習センター(※印は別会場)

※浜田市 初日は県立大学、2日目はいわみーるで開催

科目区分		科目名	担当講師	日 程
基盤	外国語	英会話とオンライン学習ツール	クリス ラング	11月9日(土)、10日(日)
導入	人間と文化	山陰地域の民俗文化	中野 洋平	10月12日(土)、13日(日)
専門	生活と福祉	人体発生学	橋本 龍樹	10月26日(土)、27日(日)
		栄養管理について学ぼう！	澤 幸子	12月7日(土)、8日(日)
	心理と教育	心理検査法基礎実習	高見 友理	11月30日(土)、12月1日(日)
		特別支援教育	西村 健一	12月21日(土)、22日(日)
	社会と産業	世界の都市景観	菊池 慶之	10月12日(土)、13日(日)
		朝鮮半島政治論	福原 裕二	10月26日(土)、27日(日)※
	人間と文化	日本近代文学入門	武田 信明	10月19日(土)、20日(日)
	情報	情報化社会とボランティア活動	山田 恒夫	12月14日(土)、15日(日)
	自然と環境	生物発生進化と性分化	西川 彰男	10月19日(土)、20日(日)

◆面接授業 令和7年度第1学期(予定)

開催場所は島根学習センター(※印は別会場)

科目区分		科目名	担当講師	日 程
基盤	外国語	英語リスニング初級	マユー あき	5月31日(土)、6月1日(日)
導入	人間と文化	日本神話と出雲神話	山村 桃子	4月26日(土)、27日(日)
専門	生活と福祉	リスクコミュニケーション論	奈良 由美子	4月19日(土)、20日(日)
		健康スポーツ	中谷 昌弘	5月17日(土)、18日(日)(※1)
		福祉経済論	宮本 恭子	5月24日(土)、25日(日)
	社会と産業	地域密着型のまちづくり	坪倉 菜水	4月26日(土)、27日(日)
		現代日本の安全保障と同盟	佐藤 壮	6月14日(土)、15日(日)(※2)
	人間と文化	「嘘」についての哲学・倫理学	田中 一馬	4月19日(土)、20日(日)
		東南アジアの文化と社会	塩谷 もも	6月28日(土)、29日(日)
	情報	生活に活かすデザイン基礎	伏見 清香	5月17日(土)、18日(日)
	自然と環境	河川地形と人間活動:斐伊川の例	酒井 哲弥	5月10日(土)、11日(日)

◆面接授業 令和7年度第2学期(予定)

開催場所は島根学習センター(※印は別会場)

科目区分		科目名	担当講師	日 程
基盤	外国語	韓国の文化に触れてみよう!	林 河運	10月25日(土)、26日(日)
導入	社会と産業	はじめて学ぶ社会学の世界	猿渡 壮	12月13日(土)、14日(日)
専門	生活と福祉	実習で学ぶ食品学の最新動向	鶴永 陽子	10月18日(土)、19日(日)(※3)
		視覚で繙く障害の特性理解と支援	内山 仁志	11月15日(土)、16日(日)
	心理と教育	心理カウンセリング基礎演習	中島 正雄	11月1日(土)、2日(日)
		事実から読む作曲家の音楽思考	河添 達也	10月25日(土)、26日(日)
		心理学実験2	村瀬 俊樹	11/29(土)、11/30(日)
	社会と産業	くらしのなかの行政法	永松 正則	12月20日(土)、12月21日(日)
		ジェンダー論	中村 圭	12月13日(土)、14日(日)(※2)
	人間と文化	江戸時代の松江	小林 准士	11月29日(土)、30日(日)
		天変地異の文化史	杉 岳志	1月10日(土)、11日(日)
		朝鮮半島の考古学(先史・古代)	平郡 達哉	11月15日(土)、16日(日)
	自然と環境	初歩からの機械学習	小俣 光司	11月8日(土)、9日(日)

(※1) 島根県立大学で実施

(※2) いわみーるで実施

(※3) いきいきプラザ島根で実施

◆公開講演会(令和6年度)

県内各地で、県民向けに1時間半程度の公開講演会を行っています。

令和6年度(延べ266人参加)

(令和6年度2学期実績)

●「家族のつくり方の比較文化——死後生殖・代理出産・国際養子縁組」

講師 出口 顕 氏

(放送大学島根学習センター所長、島根大学名誉教授)

11月2日(土) 14:00～15:30

島根学習センター第1講義室 12名参加

●「私たちがものごとを考えるときの心のクセ:認知バイアス」

講師 村瀬 俊樹 氏

(放送大学島根学習センター客員教授、島根大学特任教授)

11月16日(土) 14:00～15:30

島根県西部社会教育研修センター(いわみーる) 9名参加

11月17日(日) 10:30～12:00

益田市立図書館 視聴覚室 13名参加

●「だまされないために学ぶ『だまされてしまう』心理」

講師 村瀬 俊樹 氏

(放送大学島根学習センター客員教授、島根大学特任教授)

12月11日(水) 10:15～12:00

松江市玉湯公民館 60名参加

●「『詩』になる言葉」

講師 山根 繁樹 氏

(島根県立大学短期大学部教授)

12月15日(日) 10:00～11:30

出雲市役所くにびき大ホール 30名参加

●「シルクロードと日本—古代出雲は「世界」の交易網とどのような関係をもっていたか?—」

講師 荒川 正晴 氏

(放送大学島根学習センター客員教授、
大阪大学名誉教授)

12月22日(日) 14:00～15:30

和鋼博物館 45名参加



◆学生のためのパソコン活用講座

放送大学の教務情報システム「システム WAKABA」の操作方法を中心に、島根学習センターの職員が研修会を行います。

令和6年度(延べ5人参加)

【第2学期】

●Web 単位認定試験体験会

松江会場 (島根学習センター第2講義室)

日時:12月17日(火)、1月11日(土)、1月15日(水)いずれも10時～11時、14時～15時

浜田会場 (いわみーる3F 302号室)

日時:1月9日(木) 11時～12時、13時～14時 参加者数2名

◆客員教員によるゼミ(学習会)

放送大学学生を対象に、島根学習センター客員教員によるゼミ(学習会)を開催しています。客員の先生方が、専門分野のテーマに沿って開講する、少人数・双方向型の学習会です。講義を聴講するだけでなく、教材をもとに質疑応答を交えながら学習を深めていきます。
令和6年度(延べ70人参加)

(令和6年度2学期実績)

ゼミの名称	講師名	
●歴史学基礎ゼミ	荒川 正晴 客員教授	4名
●言語と文化 ―言語を対照する―	安齋 有紀 客員教授	7名
●英語学習における工夫と支援	大谷 みどり 客員教授	9名
●生物の不思議 ～分子から生態まで～	尾崎 浩一 客員教授	3名
●建築のつくりかた	千代 章一郎 客員教授	4名
●実験・調査を通して知る心の仕組み	村瀬 俊樹 客員教授	8名

◆学習相談

学習の方法や進め方など、修学上の疑問や質問について、毎月2回程度、客員教員による対面またはオンライン方式で学習相談を実施しました。令和6年度(延べ41人実施)

◆学生研修旅行

●広島県福山市方面(鞆の浦他)

島根学習センターが主催し、学友会(放送大学学生の会)が共催して実施するバスツアーです。

実施日:11月17日(日)

古くから瀬戸内海の交通の要衝として栄えた港町、鞆の浦を訪れ、江戸時代の港の景観や古い町家が今も残る歴史の街を散策しました。

参加者数20名



◆サークル活動

サークル名	活動	活動内容
古文書を読む会	原則毎月1回 (第3水曜日) 13:30～15:30	古文書を自分で読めた時の喜びや達成感は計り知れません。古文書の解説だけでなく、時代背景も学び、皆が理解するまでゆっくりと学びます。
だんだんサロン・表現の会	毎月1回 (主に第3木曜日)	以前続けてきた活動をリニューアルし、10月からサークル活動として行っています。表現活動を通して豊かなコミュニケーション能力を身につけることを目的としています。
学友会	随時	「勉強会」、「学生研修旅行(センターとの共催)」、「松江散策ツアー」など、学習に役立つことや学生間の交流を行っています。 また、学生に不要となった印刷教材の再利用(リユース)などの取り組みも行っています。

島根学習センター 令和7年度第1学期の学生現況

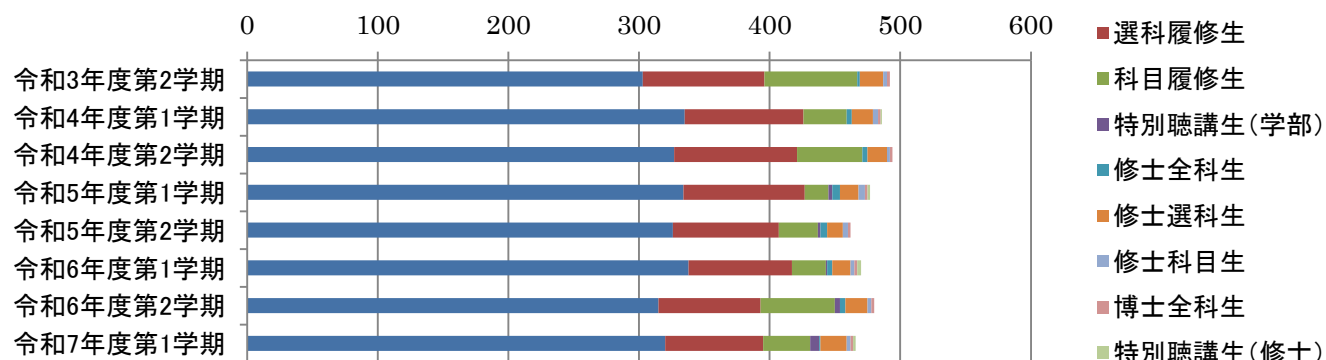
◆学 生 数 の 推 移

- ・1学期の学生数は、教養学部では令和6年度と比べ6名減少し、大学院は2名増加した。
合計で466人となり、令和6年度を下回った。
- ・新生は令和6年度と比べ、教養学部が12名増加し、大学院は3名増加した。
- ・学生数合計では、15歳以上の人口に対する学生数の比率は全国平均を若干上回った。
(R2国勢調査の人口比 …… 島根 0.079%、全国 0.073%)

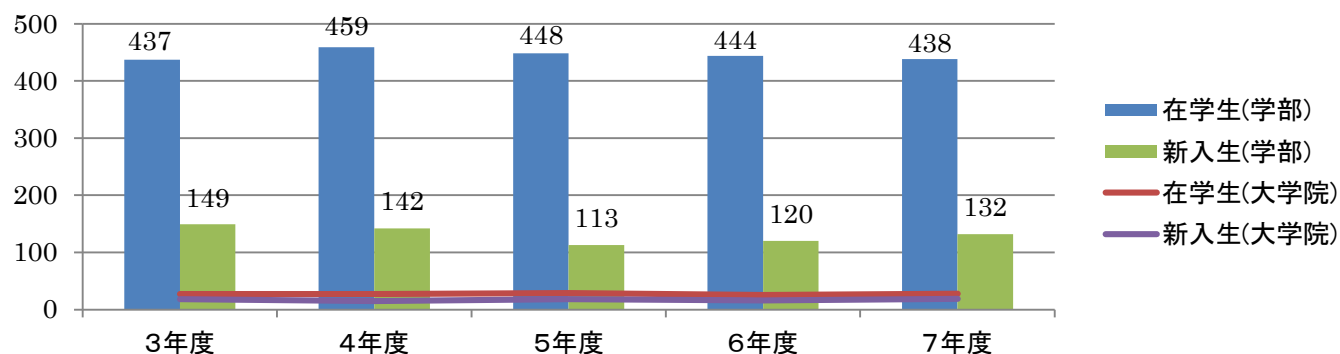
[単位：人]

		教 養 学 部					大 学 院						合計	うち 新入生	
		全 科 履 修 生	選 科 履 修 生	科 目 履 修 生	特 別 聴 講 生	小 計	修 士 全 科 生	修 士 選 科 生	修 士 科 目 生	博 士 全 科 生	特 別 聴 講 生	小 計		学 部	大 学 院
R3年度	1学期	298	86	53	1	438	2	18	4	2	1	27	464	149	18
	2学期	303	93	71	0	467	2	18	3	2		25	492	141	10
R4年度	1学期	335	91	33	0	459	4	16	4	2	1	27	486	142	15
	2学期	327	94	50	0	471	4	15	2	2		23	494	120	8
R5年度	1学期	334	93	18	3	448	6	14	5	2	2	29	477	113	18
	2学期	326	81	30	2	439	5	12	4	2		23	462	82	8
R6年度	1学期	338	79	26	1	444	4	14	3	2	3	26	470	120	16
	2学期	315	78	57	4	454	4	17	3	2		26	480	104	10
R7年度	1学期	320	75	36	7	438	1	20	3	2	2	28	466	132	19
	2学期														

在学生の学生種別別推移



各年度1学期の推移



◆履修科目の状況(令和7年度第1学期)

- ・教養学部全科履修生は、心理と教育コースの登録者が36%と最も多く、次いで生活と福祉コースが約15%となっている。また、科目別にみても、この2つのコースの科目がより上位となっており、面接授業や基盤科目でも履修者の多い科目がある。
- ・大学院では、修士全科生自然環境科学プログラム1人と、博士全科生社会経営科学プログラム1人、人間科学プログラム1人が履修している。

○全科履修生の登録状況

・教養学部全科履修生の登録コース

コース名	人数	割合
心理と教育コース	116	36.0%
生活と福祉コース	49	15.2%
人間と文化コース	46	14.3%
社会と産業コース	48	14.9%
自然と環境コース	28	8.7%
情報コース	35	10.9%
計	322	100.0%

・大学院修士全科生の登録プログラム

プログラム名	人数	割合
自然環境科学プログラム	1	100.0%
計	1	

・大学院博士全科生の登録プログラム

プログラム名	人数	割合
社会経営科学プログラム	1	50.0%
人間科学プログラム	1	50.0%
計	2	-

○登録数上位の科目名(教養学部)

順位	科目名	登録数	所属コース等
1	心理学概論('24)	24	心理と教育、人間と文化
2	より良い思考の技法('23)	23	心理と教育、生活と福祉、自然と環境、人間と文化、社会と産業
3	人体の構造と機能('22)	21	心理と教育、生活と福祉、社会と産業、人間と文化
4	食と健康('24)	19	心理と教育、生活と福祉、社会と産業、自然と環境
5	心理と教育へのいざない('24)	18	心理と教育、人間と文化、生活と福祉、社会と産業、情報
6	日本神話と出雲神話	17	人間と文化、社会と産業、生活と福祉
7	今日のメンタルヘルス('23)	16	心理と教育、生活と福祉、人間と文化、情報
8	心理カウンセリング序説('21)	15	心理と教育、生活と福祉
8	発達心理学概論('17)	15	心理と教育、生活と福祉、人間と文化、情報
10	グリーフサポートと死生学('24)	14	心理と教育、生活と福祉
10	日本語リテラシー('21)	14	心理と教育、人間と文化、情報、生活と福祉、自然と環境
12	感染症と生体防御('24)	13	生活と福祉、心理と教育、人間と文化
12	宮沢賢治と宇宙('24)	13	人間と文化、社会と産業、自然と環境、情報
12	産業・組織心理学('20)	13	心理と教育、社会と産業、生活と福祉
12	心理的アセスメント('20)	13	心理と教育、社会と産業
12	生活に活かすデザイン基礎	13	心理と教育、社会と産業、人間と文化、生活と福祉、情報
12	臨床心理学概論('20)	13	心理と教育
18	イメージの力('24)	12	心理と教育、生活と福祉
18	社会福祉ー新しい地平を拓く('22)	12	生活と福祉
18	多文化共生のコミュニケーション('24)	12	心理と教育、人間と文化
18	日本語アカデミックライティング('22)	12	心理と教育、自然と環境、生活と福祉、人間と文化、情報
22	プログラミング入門Python('24)	11	心理と教育、自然と環境、情報、社会と産業、人間と文化
22	感情・人格心理学('21)	11	心理と教育、社会と産業、人間と文化、情報
22	司法・犯罪心理学('20)	11	心理と教育、生活と福祉、社会と産業、人間と文化
22	地域・在宅看護論('23)	11	生活と福祉
22	特別支援教育総論('25)	11	心理と教育

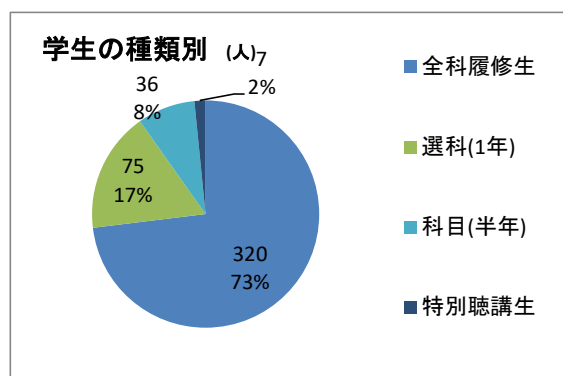
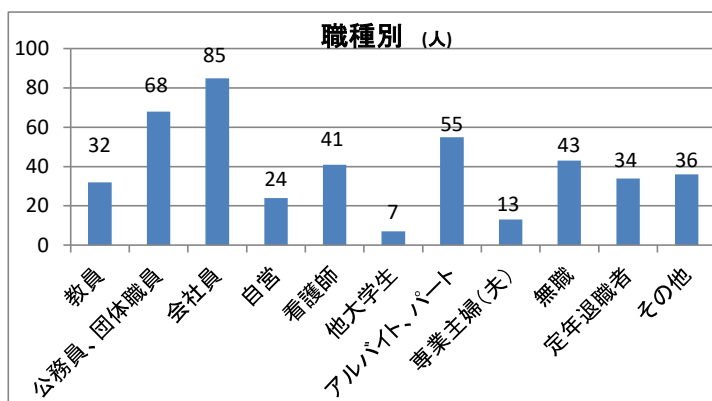
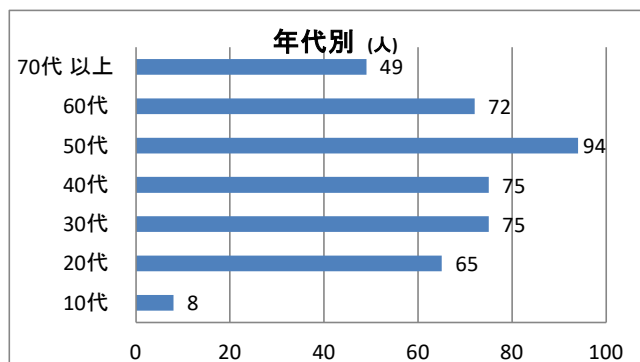
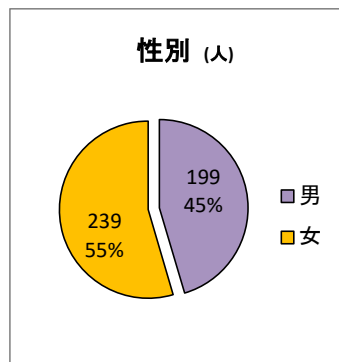
○登録数上位の科目名(大学院)

番号	科目名	登録数	プログラム
1	学校臨床心理学特論('21)	4	
1	発達心理学特論('21)	4	
3	フィジカルアセスメント特論('16)	3	
3	統合医療安全・特定行為実践特論('19)	3	
3	統合臨床病態生理学・疾病概論('19)	3	
3	特定行為共通科目統合演習('17)	3	
3	臨床推論('16)	3	
8	研究のためのICT活用('21)	2	
8	社会心理学特論('25)	2	
8	臨床薬理学特論('17)	2	
11	eラーニングの理論と実践('24)	1	
11	アカデミック・スキルズ('25)	1	自然環境科学プログラム
11	カリキュラムの理論と実践('21)	1	

◆教養学部 在学生の状況(令和7年度第1学期)

教養学部	438人
大学院	28人
合 計	466人

- ・性別では女性が約55%、年代別では10代から50代までの現役世代が約72%。
- ・職種別では、会社員が最も多く、自営を合わせた民間企業の方が全体の約25%。
- ・次いで多いのが公務員・団体職員、アルバイト・パート職員でキャリアアップを図ろうとする意向が見られる。
- ・また定年退職者も多く、生涯学習に向けた学ぶ意欲のある60代以上の方が約28%在籍。
- ・学生の種類別では、全科履修生が約73%、次いで選科履修生が約17%。



◆教養学部 新入生の状況(令和7年度第1学期)

- ・職種別では、公務員・団体職員が最も多く、次いで、アルバイト・パートの方が多い。
- ・学生の種類別では、選科履修生が35%、全科履修生が33%、科目履修生が27%となっている。
- ・年代別では、50代、30代、20代の順に多く、各年代から入学している。

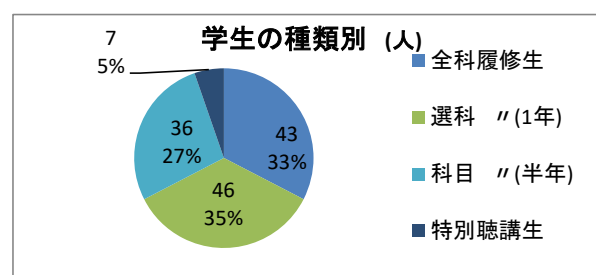
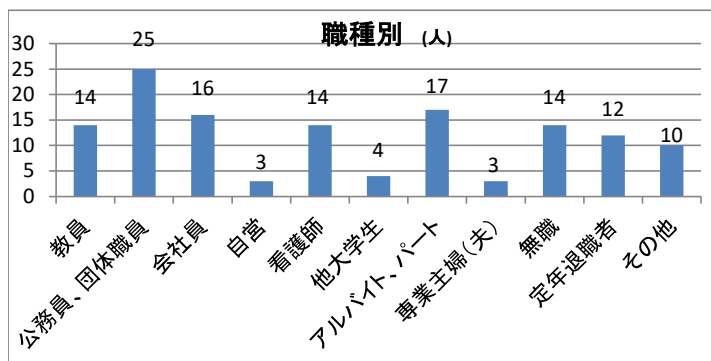
入学種別	人数
一般入学	96
再入学	3
編入学	18
通算入学	1
学士入学	7
特別聴講生	7
計	132

性別	人数
男	62
女	70
計	132

職種別	人数
教員	14
公務員・団体職員	25
会社員	16
自営	3
看護師	14
他大学生	4
アルバイト・パート	17
専業主婦(夫)	3
無職	14
定年退職者	12
その他	10
計	132

学生の種類別	人数
全科履修生	43
選科 "(1年)"	46
科目 "(半年)"	36
特別聴講生	7
計	132

年代別	人数
10代	4
20代	23
30代	24
40代	20
50代	29
60代	17
70代以上	15
計	132



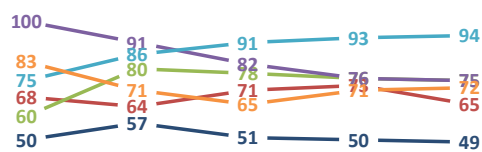
◆教養学部在学生の年代別、職業別推移(過去5年間の第1学期の数値)

●年代別

- ・前年比較では10代、50代、60代が増加。
- ・20代～40代、70代以上は減少。

[単位:人]

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
10代	1	10	10	5	8
20代	68	64	71	73	65
30代	60	80	78	76	75
40代	100	91	82	76	75
50代	75	86	91	93	94
60代	83	71	65	71	72
70代 以上	50	57	51	50	49
計	437	459	448	444	438

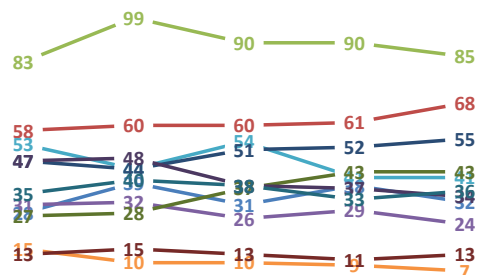


●職業別

- ・前年比較では、公務員・団体職員、アルバイト・パート、専業主婦(夫)、その他が増加
- ・毎年、会社員が最も多く今年度は85人。

[単位:人]

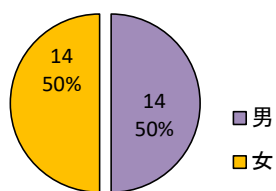
	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度
教員	28	39	31	38	32
公務員、団体職員	58	60	60	61	68
会社員	83	99	90	90	85
自営	31	32	26	29	24
看護師	53	44	54	41	41
他大学生	15	10	10	9	7
アルバイト、パート	47	44	51	52	55
専業主婦(夫)	13	15	13	11	13
無職	27	28	37	43	43
定年退職者	47	48	38	37	34
その他	35	40	38	33	36
計	437	459	448	444	438



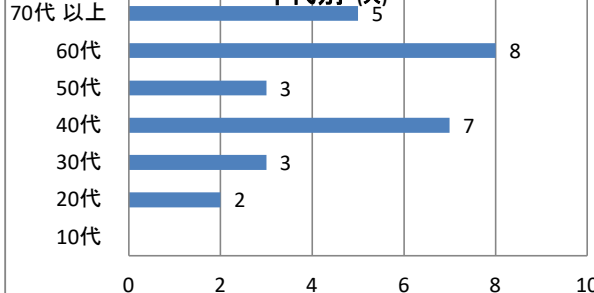
◆大学院 在学生の状況(令和7年度第1学期)

- ・性別では女性が約50%、年代別では30代から50代までの現役世代の方が約54%。
- ・職業別では教員が最も多く、次いで公務員、団体職員・定年退職者が多い。
- ・学生の種別では修士選科生が71%、全科生は修士1名、博士2名。

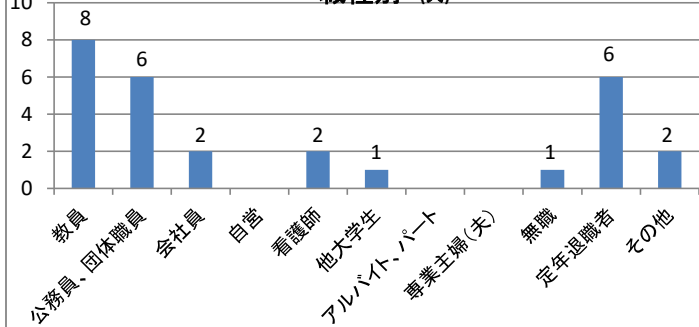
性別 (人)



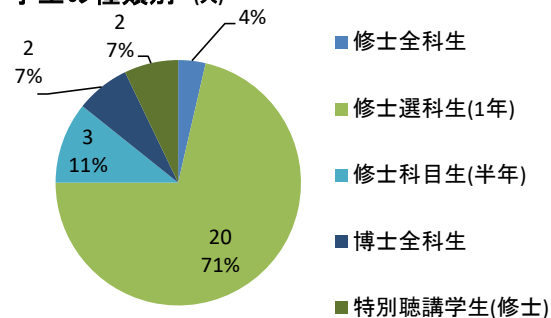
年代別 (人)



職種別 (人)



学生の種別 (人)



◆教養学部卒業生の推移

[単位:人]

※平成 21 年度、平成 28 年度にカリキュラムの見直しが行われ、教養学部の専攻・コース、大学院のプログラムについても再構築された。

<旧 専 攻>

		生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	合 計
平成 11～27 年度		118	108	30	20	31	14	321
平成 28 年度	第 1 学期	0	0	0	0	0	0	0
	第 2 学期	1	0	0	0	0	0	1
平成 29 年度以降		0	0	0	0	0	0	0
合 計		119	108	30	20	31	14	322

<新 コ ー ス>

		生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	自然と環境	情 報	合 計
平成 21～令和元年度		92	111	40	42	13	13	311
令和 2 年度	第 1 学期	6	11	4	1	2	2	26
	第 2 学期	7	10	0	3	2	1	23
令和 3 年度	第 1 学期	5	2	2	4	0	0	13
	第 2 学期	0	5	2	2	0	2	11
令和 4 年度	第 1 学期	4	4	3	1	3	2	17
	第 2 学期	5	8	1	4	1	0	19
令和 5 年度	第 1 学期	6	5	3	1	0	1	16
	第 2 学期	7	11	3	0	1	3	25
令和 6 年度	第 1 学期	4	9	2	3	1	0	19
	第 2 学期	3	7	3	3	3	1	20
合 計		139	183	63	64	26	25	500

◆大学院修了生の推移

[単位:人]

<旧 プ ロ グ ラ ム>

	総合文化	政策経営	教育開発	臨床心理	合 計	
平成 15～24 年度	10	4	1	1	16	

<新 プ ロ グ ラ ム>

	生活健康 科学	人間発達 科学	臨床 心理学	社会経営 科学	文化 情報学	人文	情報	自然環境 科学	合 計
平成 22～令和元年度	3	7	1	3	2	1	0	2	19
令和2年度	0	0	1	0	0	0	0	0	1
令和3年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和4年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和5年度	0	1	0	0	0	0	0	0	1
令和6年度				1		2			3
合 計	3	8	2	4	2	3	0	2	24

令和7年度第1学期 市町村別在籍者数

[単位:人]

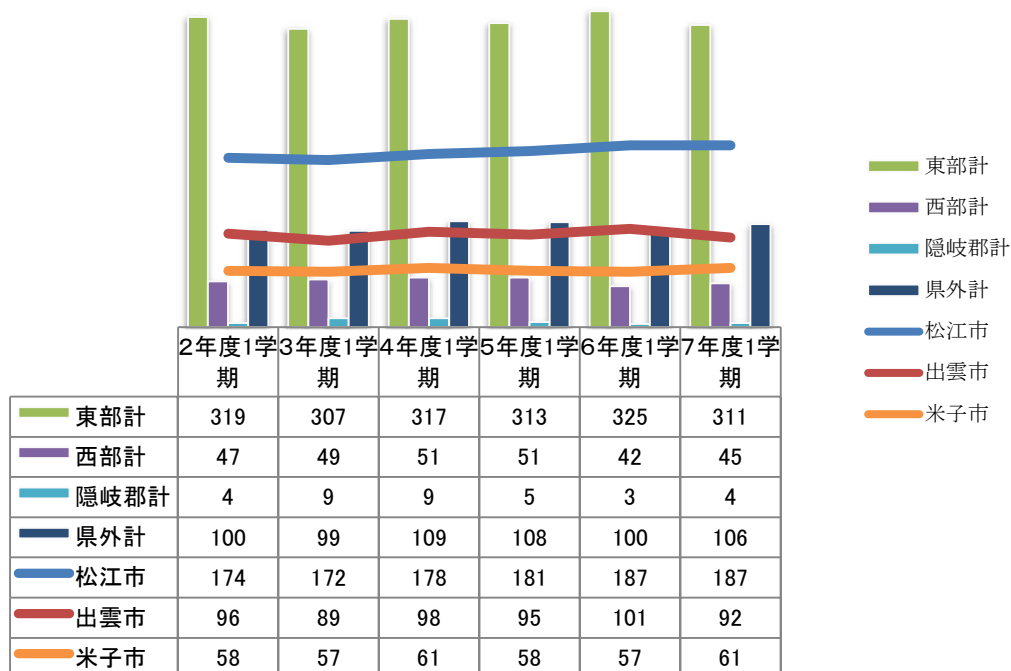
市町村名	学 部				大 学 院					計	備考 (県内住所 学生数)
	全 科	選 科	科 目	特 聴	全 科	選 科	科 目	博 士	特 聴		
松江市	111	35	19	6	1	10	2	2	1	187	187
安来市	12	4								16	16
出雲市	73	9	5			5				92	96
雲南市	3	2	1							6	6
仁多郡奥出雲町	6	1		1						8	8
飯石郡飯南町	2									2	3
東部 小 計	207	51	25	7	1	15	2	2	1	311	316
大田市	10	2	1							13	13
江津市	4	1	1							6	6
浜田市	14	2	1							17	22
益田市	5	2								7	13
邑智郡美郷町		1								1	1
邑智郡川本町										0	
邑智郡邑南町	1									1	4
鹿足郡津和野町										0	1
鹿足郡吉賀町										0	6
西部 小 計	34	8	3	0	0	0	0	0	0	45	66
隠岐郡隠岐の島町		1								1	1
隠岐郡西ノ島町	1	1								2	3
隠岐郡海士町										0	
隠岐郡知夫村			1							1	1
隠岐 小 計	1	2	1	0	0	0	0	0	0	4	5
米子市	44	10	5			2				61	
境港市	8	1	2							11	
倉吉市	1	1								2	
西伯郡南部町	2									2	
西伯郡伯耆町	3	1				1				5	
西伯郡大山町	5									5	
西伯郡日吉津村	1					1				2	
日野郡日南町	1									1	
広島県	3	1							1	5	
山口県						1				1	
香川県	2									2	
北海道	1									1	
東京都	3									3	
神奈川県	1									1	
愛知県	2									2	
大阪府	1						1			2	
県外 小 計	78	14	7	0	0	5	1	0	1	106	
総 計	320	75	36	7	1	20	3	2	2	466	387



県内市町村白地図から

資料提供：島根県地域振興部市町村課

地域別の在籍者数推移（人）



- ・地域別の構成比は、県東部 67%、県外 23%、西部 10%、隠岐 1%
- ・前年と比較して、県東部地域は増加、その他の地域は減少した。

(R7/R6……松江 100%, 出雲 91%, 米子 107%)

【島根学習センターの現況】

○体 制 所長

客員教員 6名

事務局 事務長以下6名

○施 設 (スティックビル内)

3階 第1講義室

4階 第2講義室、図書・視聴室、客員教員室、談話室、事務室

○西部コーナー（再視聴施設）

浜田コーナー 浜田市野原町 1826-1 県立西部社会教育研修センター内

益田コーナー 益田市常盤町 8-6 益田市立図書館内

○主な事業・活動

- ・面接授業の開設
- ・所長、客員教員による学習相談
- ・公開講演会の開催
- ・ゼミの開催
- ・サークル活動、同窓会活動
- ・学位記授与式、入学者の集いの開催
- ・卒業研究ガイダンス、卒業論文発表会の開催
- ・在学生の履修相談、入学説明会



 **放送大学** 島根学習センター

〒690-0061 島根県松江市白湊本町 4 3

スティックビル 4 階

TEL 0852 (28) 5500

FAX 0852 (28) 1800

